

人とともに 地域とともに 島根大学

*shimadai



広報しまだい
Shimane University



しまだいの「お宝」を
見に行こう！

【特集1】島根大学総合博物館オープン

vol. 38

shimadai

2018.10

【特集2】島大発バイオベンチャー

明治8年からの教育・研究成果が集約！ 島根大学総合博物館がオープン



6月5日、骨格標本や化石、土器など約800点を展示する「総合博物館」がオープンしました。この博物館は、島根大学が明治時代以来の教育・研究活動によって収集してきた標本資料類を展示公開しており、入館無料で一般公開されています。

地域と大学を繋ぐ場 島根大学の「お宝」が集結！

松江キャンパスの東側、生物資源科学部3号館1階の一角を改装しオープンした総合博物館。島根大学が明治時代以来の長年の教育研究のなかで収集してきた、多様な学術資料を無料で展示公開しています。この博物館は、学生教育や新たな研究に繋げていくとともに、学外の市民の方にも見学に訪れてもらい、大学の教育研究についてより理解を深めてもらうことを目指しています。

vol.38 CONTENTS

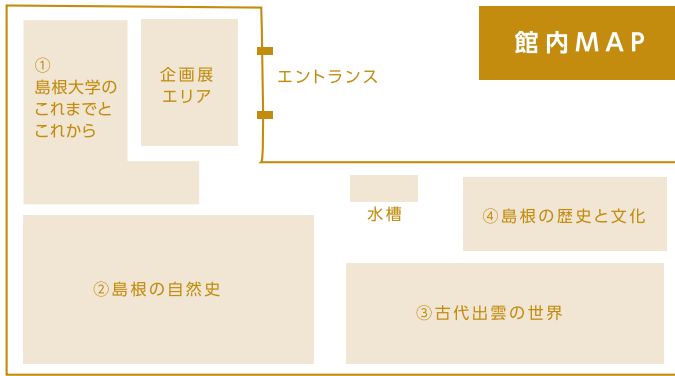
- エスチュアリー研究センター 07
- 島根大学の国際交流
- サマースクール2018 09
- 留学生・留学体験紹介 11
- 島根大学の研究・地域貢献事業紹介
- ① 法文学部 谷口 智紀 准教授 13
- ② 医学部 榊原文 講師 15
- ③ 総合科学研究支援センター 中川 強 教授 17

- 社会で活躍する卒業生
- 中学校教諭 濱岡 睦月 さん 19
- しまだい便り 21
- 低酸素室 整備 23
- しまだい's サークル 24
- 島根大学支援基金より 25
- 島根スサノオマジック活動紹介
 読者プレゼント 26

企画・制作
株式会社メリット

デザイン
有限会社node

タイトルロゴデザイン
松陽印刷所デザイン室 森脇 祥吾



▲①島根大学のこれまでとこれから



▲②島根の自然史



▲③古代出雲の世界



▲④島根の歴史と文化

「島根大学が何をしているところなのか、どのような研究をおこなっているのか、総合博物館に足を運んでいただければすぐに分かります」と、専任の会下教授。市民の方々に、島根大学をより身近に感じてもらう、深く理解してもらおうきっかけになればと続けます。開館から2ヶ月で来場者数5000人を突破。夏休み期間中には、家族連れを中心に一般の方も多く来場されたそうです。



島根大学では、これまでキャンパス内にミュージアムを開設していましたが、職員が常駐できないため事前予約が必要だったり、所蔵品が学内の3か所に分散して保管・展示されており、展示スペースの都合で公開されていないものもありました。今回、一箇所に集約し、自然科学・人文科学等、様々な分野にわたる実物資料を総合的に展示・保管することで、複合的な研究や教育にも役立つことが期待されます。

人とともに 地域とともに 島根大学

*shimadai

広報しまだい
Shimane University

2018.10 vol.38

【特集1】

島根大学のお宝がズラリ！
総合博物館オープン…………… 01

【特集2】

島大発バイオベンチャー…………… 05

博物館にはこんな“お宝”が!



「ニホンアシカ」の剥製標本

1886年(明治19年)に、島根県美保関町で捕獲された若い雄の剥製標本。世界に15体しかない貴重な標本。



隠岐馬の骨格標本

隠岐島にいた日本固有の小型の馬で、昭和20年代には絶滅。総合博物館が所有するものが唯一の実物標本。



パレオパラドキシアの骨格復元模型

島根大学生が復元したパレオパラドキシア。カバに似た珍獣で、島根県では来待石採石場から下顎の骨が発見されている。

多彩な切り口から 大学の研究を伝える

所蔵品は、「島根大学のこれまでとこれから」「島根の自然史」「古代出雲の世界」「島根の歴史と文化」という4つのテーマに分けて展示・公開されています。大学創立期からの歩みを写真パネルで展示、旧制松江高等学校や島根師範学校時代に実際に使用されていた教科書のほか、明治19年に美保関沖で捕獲したニホンアシカの剥製や、島大生が松江市馬潟での実習中に偶然発見した世界最古のアユの化石、島根大学松江キャンパスで発掘された土器や木製品など、国内でもなかなかお目にかかることのできない貴重な資料がズバリと並びます。

総合博物館のエントランス正面には企画展コーナーを配置。定期的に様々な切り口で所蔵品を紹介していく予定です。博物館の一角には、学生サークル「エコジーンネットワーク」が管理する水槽も設置。イスに座つてのんびりと水槽の魚たちを眺めることができ、憩いのスペースにもなっているのだとか。そのほか、展示に関する質問に

専門家が答えてくれるコーナー、出土品に触れることのできるコーナーなど、年齢を問わず楽しめる工夫が随所に施されています。



▲企画展のコーナー



▲学生サークルが管理する水槽

地域や学生に貢献する 博物館を目指して

貴重な資料を保管・展示公開する一方で、総合博物館には教育の場としての役割も求められています。オープン後から、生物資源科学部の実習の中で博物館見学を取り入れたり、学芸員資格取得のための実習を博物館内で実施したりと、授業でもすでに活用されています。自らの専門の知識を深めることはもちろんですが、他分野の教材にも自然と触れることができるため、学生の幅広い視

大学ならではの貴重なお宝を公開中!ぜひご覧ください!

平成18年度に発足した島根大学ミュージアムは、本格的な博物館施設「島根大学総合博物館」として、新しく生まれ変わりました!広いスペースに島根大学の歴史や教育資料、骨格・剥製・岩石・化石標本や考古遺物などのお宝、そして心を癒し

てくれる生き物がみなさんをお待ちしています。

総合博物館 館長
入月 俊明 教授



DATA



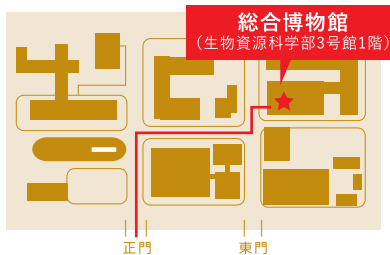
総合博物館

場所 生物資源科学部
3号館1階(右手)

開館日時 月～土曜 10:00～17:00

休館日 日曜、国民の祝日・振替休日、
年末年始、その他

詳しくは公式ホームページにて▶



縄文土器

島根大学松江キャンパス(第2体育館)で出土した鉢形土器(西川津式)。

世界最古のアユ化石

松江市馬潟で、島根大学生が実習中に発掘した世界最古のアユ化石。



縄文時代の榧

島根大学松江キャンパスで出土したスギ製の榧。木製品がほぼ完全な形で何千年も残るのは大変珍しい。

野を育てることにも一役かっているといえます。

学内のみならず、市内の小学生や高校生の大学訪問の際にも、積極的に見学を受け入れています。なかなかお目にかかれない貴重な化石やはく製などを間近で見られる良い機会になり、生徒にとっても刺激になったようです。

総合博物館はまだスタートしたばかり。10年後、100年後を見据えて、学生のために、そして地域のために貢献できる大学博物館を目指して、様々な試行錯誤が続きます。地域に向けては、島根大学への理解をより深めてもらえるよう



▲川津小学校の児童による見学



▲学芸員実習の様子

に、定期的な企画展の実施や一般向けの博物館見学ツアーの実施などを、大学へ足を運んでもらうきっかけを積極的に提供していきたいと語る館長。島根大学でしか見られない「お宝」を、一度覗きにいつてみてはいかがでしょう。

島大発バイオベンチャー「マブプロテイン」設立 目指すは、島根発の抗体薬開発

医学部の浦野健教授が開発した良質な抗体作製技術の実用化を目指すバイオベンチャーが大学内に設置されました。がんを始め、様々な疾患の早期診断や治療薬としての展開が期待されます。浦野教授にお話をうかがいました。

抗体作製技術を実用化 島大発ベンチャー設立

島根大学発6例目となるベンチャー企業は、「mAbProtein(マブプロテイン)」。抗体を使った薬の名前につく「マブ」を取って付けられました。抗体とは、ウイルスや細菌などの異物(抗原)が体内に入り込んだ時に、抗原と結合して体から追い出すために作られる物質。この抗体の仕組みを利用して病気の原因になっている物質に対する抗体を作り、病気の予防や治

療を行う薬が、抗体薬と呼ばれています。

長年抗体の研究を続けてきた浦野教授に対し、医療現場にいる臨床医から、炎症を起こす患者の治療に役立つ抗体作製の依頼が来たのがベンチャー設立のきっかけでした。「私は元々外科医でしたが、手術をしても治らない患者さんが少なからずいることから、手術以外の治療法を求めて抗体の研究を始めました。しかし基礎研究だけで薬を作ることはできません。臨床の先生方とプロジェクトを組み、治療も兼ねて研究開発できることは非常にうれしいです」と浦野教授。早速抗体やデータ作製に着手し、今年3月にはベンチャー会社を設立。山陰合同銀行などで作る「しまね大学発・産学連携ファンド」からも評価を受け、1億5000万円の出資を受けました。



医学部 生化学講座
株式会社mAbProtein
浦野 健 教授



販売予定のモノクローナル抗体、ポリクローナル抗体、タンパク質のパッケージ。浦野教授がデザインにもこだわった自信作だ。



浦野教授が島根大学に来てから購入した、コンフォーカルレーザー顕微鏡。細胞のCTを撮ることができる優れたもの。



抗体は冷凍庫だけでなくドライアイスでも保管。災害等で停電が起こり、電源機器が使用できなくなった場合のリスク対策だ。

株式会社 mAbProteinのラボ（基礎研究棟1階）は、現在整備中。浦野教授の研究室で使用してきたものと同様の設備が入る予定。写真は浦野教授の研究室。



抗原（灰色）を捕まえた抗体（緑色）の構造を图示したものの。

研究室を飛び出して会社設立に至ったのは、病に苦しむ患者の存在がありました。「現存する炎症に対する薬は海外のものがほとんど。国内で作製・販売することができれば患者さんにとっても、研究・医療機関にとってもメリットが大きいのです」。

がんや糖尿病、動脈硬化などの疾患に関連し、炎症を強めるある種の「炎症性サイトカイン」は11種ありますが、浦野教授は既にその6種類の抗体作製に成功。「残り5種類の作製を急ぐと共に、作製できた抗体の薬品化にも力を入れたい」と意気込みを見せます。浦野教授によると、抗体薬は現在欧米を中心に50種類以上開発されていますが、国内の実績はわずか3種類。「4番目、5番目を島根で作りたいですね」。

研究試薬の製造・販売から抗体薬の開発も狙う

浦野教授は「炎症性サイトカイン」の抗体のほかにも、さまざまな



2018年3月20日に設立（島根大学発ベンチャー認定）。医学部の基礎研究棟にオフィスを構え、現在研究開発を行う部屋の整備を進めている。

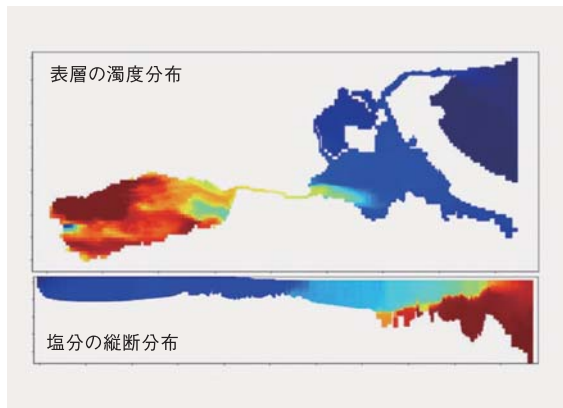
抗体の作製実績を誇っています。新会社は今後、アメリカからスタッフを呼ぶなどして研究員3人体制を確保。医師らの研究用の試薬や、抗体の反応を調べる診断キットの製造・販売、さらには抗体薬の開発を進めます。品質はもちろんのこと、包装材料のデザインや機能性などにもこだわり、今年中に30種類、5年後には100種類の研究試薬の販売を目指しているそうです。浦野教授は「大学での実績から既に海外の会社からオファーが来ています。2年目には黒字化できると思いますよ」と自信を見せます。世界中で誰も持っていない抗体が、そして国内4番目の抗体薬が島根大学発のベンチャーから生み出される日はそう遠くないかもしれません。

「地域」と「世界」の2つを柱に研究を推進 一歩を踏み出した「エスチュアリー研究センター」

1992年に日本で唯一の汽水域研究機関として島根大学に設置された「汽水域研究センター」。25年の節目を迎えた昨年「エスチュアリー研究センター」と改称されると同時に、改組も行われました。今回はこの改称、改組の目的と概要、今後どのような研究や活動を行うっていくのかを紹介します。

汽水域研究センターから エスチュアリー研究センターへ

昨年行われた「汽水域研究センター」から「エスチュアリー研究センター」への改称と改組。従来の汽水域の英訳はラグーン(潟)でしたが、河川から沿岸部まで広くとらえる場合、国際的にはエスチュアリーという名称で認識されており、改称することとで、本センターの研究姿勢を明確にしました。また、これまでセンター内に、4つの部門を有していました



数値解析の例。宍道湖・中海における濁度と塩分の流動シミュレーション

が、地学的な手法により環境変化を解析する「環境変動解析部門」、水理学的な手法により水環境の解析を行う「流動解析部門」、水棲生物を研究する「水圏生態研究部門」の3部門に再編しました。特に新設した「流動解析部門」では、現場データを使った数値シミュレーション等を行う事で、将来予測や現象評価について、細かな解析ができるようになりました。海外の同様な研究機関の

中では、すでに「数値解析」といった分野が取り込まれていますが、中海・宍道湖においては、地元の研究機関で流動解析がほとんど行われておらず、エスチュアリー研究センターの特徴の一つになっています。

エスチュアリー研究センターの 二つの大きな目的と役割

本センターには二つの大きな目的があり、一つは中海・宍道湖等の地域に根差した、地域に貢献できる研究センターとして機能することです。すでに、島根・鳥取両県や国交省等からの受託をうけ、様々な研究を行っています。もう一つは国際的に認知されるエスチュアリー研究の取り組みを推進していくことです。昨年は南アフリカの研究機関と共同研究を行い、南アフリカのダム湖と中海・宍道湖の比較の研究を行ったほか、ベトナムにあ

るメコン川の研究も行っており、アジアを中心に本センターが認知され、ここでの成果や研究内容及び実績を世界へ発信していくことを目指しています。

今後も本センターの基本理念である「人間社会とそれを取り巻く自然環境の持続的発展を可能にするための汽水域の保全と利用」をもとに、地域に貢献し、かつ世界を視野に入れた取り組みを推進していきます。



エスチュアリー研究センター

Interview

センターをもっと掘り下げる!

齋藤センター長インタビュー



エスチュアリー研究センター

さいとう よしき
齋藤 文紀

センター長／教授

Q 今回の改称・改組の大きな目的とポイントは

本センターの改称及び改組にあたり、今回「エスチュアリー」という名称に変更しました。エスチュアリーは河口域、沿岸地域、またその周辺地域を含んでいて、国際的にも広く認識されている言葉です。海外から見たときにも研究分野や領域が分かりやすく、また「エスチュアリー」に該当する適当な日本語がなく、国内では馴染みがないため、逆にこの言葉を普及させることも考えて、「エスチュアリー研究センター」としました。

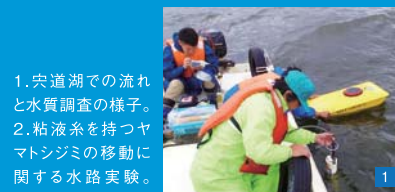
河川からエスチュアリーを通じて外海へといった流れを二連のものとして捉えて、また学際的に幅広く取り組んでいるのが、大きなポイントかと思えます。これにより総合的にエスチュアリーの研究を推進できる体制となっています。

Q センターの現状と課題、そして目標は?

現在専任スタッフは8名です。特に講師1名、助教3名、特任助教3名、ポストドクター2名と若手の研究者が多いのが特徴です。今後は、新しい研究やプロジェクトを推進していく必要があり、地域の諸課題に対する研究、諸外国の研究など、新たな研究資金の確保が必要です。若い研究者の、様々な問題や課題に取り組む姿勢が本センターの未来を形作っていくものと考えています。またセンターは、特任教授1名、客員教授、客員研究員、さらに学部を超えた兼任教員が約20名入っていたことで、専門分野の偏りが無く、幅広く問題や研究に対応できる体制となっています。この強みを生かし、地域への貢献と国際的、特にアジアにおけるエスチュアリーを含めた海岸沿岸域の研究拠点やハブとなることを目指しています。

現在の取り組み一例

中海・宍道湖の統合環境シミュレーションモデルの開発



1. 宍道湖での流れと水質調査の様子。
2. 粘液系を持つヤマトシジミの移動に関する水路実験。



潮汐卓越型エスチュアリーにおける堆積モデルの再構築



1. メコンデルタ河床堆積物調査の様子。2. 採取された潮汐堆積物。

中海・宍道湖における水環境問題は、周辺住民だけでなく、国内外の研究者からも注目されています。両湖沼の水環境の全体像を理解するため、水質や水の流れの変化と、水草やシジミなど生き物の生態をとらえ、統合的な数値シミュレーションモデルの開発を行っています。開発に必要な基礎データを得るため、シジミの室内実験を行うとともに、現地での水質や流れのデータ取得を行っています。現在、モデルの基礎的な構築はできていますが、それにシジミや水草をモデルとして組み込む作業の準備をしているところです。将来的には、気象予測モデルと連携させた中海・宍道湖のリアルタイム水質予測モデルを開発し、一般市民への情報公開も視野に入れています。

従来の堆積モデルは、地層の解析から行われており、現在の環境とは差異があるため多くの問題を抱えていました。そこで、ボーリング等の堆積地質学的手法で、現在の環境を明らかにすることによって、エスチュアリーの新たな堆積モデルの構築を試みています。対象となる地域は、潮汐卓越環境にあるベトナム、メコンデルタの河口域とその周辺域です。河床の堆積物の採取と塩分・温度の測定を行い、堆積物の特徴である堆積相やそこに含まれる生物相を明らかにし、解析を進めています。すでに国際学術誌から4本の論文として発表するなど、新モデルの構築が出来あがりつつあります。現在は、この構築されたモデルを他の地域で検証しているところです。

【特集4】 島根と世界の縁結び

島根大学の 国際交流

Shimane ∞ World
Shimadai International exchange

Episode

1

欧米の海外協定校から9名が参加

島根の歴史や伝統工芸に触れる



柔道体験の一コマ。期間中には、柔道や剣道、漫画サークルなどを見学し、部員に教えてもらいながら部活にも参加。

島根大学では毎年7月に、海外協定校の学生を対象にサマースクールを開催しています。基礎的な日本語を学習し、島根の歴史と文化を学ぶことを目的としたもので、今年はアーカンソー大学、セント州立大学、エクセター大学、トリア大学から9名が参加しました。7月3日から18日まで、午前中の講義では島根の文化や歴史、日本語を学び、午後からは松江城や出雲大社訪問に加えて、茶道体験や醤油蔵を見学するなど、地域の文化や産業についても学びました。また、2日間のホームステイで日本の暮らしを体験し、地域との交流も深めました。

2週間にわたる
プログラムを通じて
日本を知り
理解を深める

VOICE

島根の文化と人の温かさに触れられた

日本に来る前は日本に関する知識はほとんどありませんでしたが、様々な体験を通して、日本の伝統文化がとても好きになりました。特に印象的だったのは松江城です。私がヨーロッパで見慣れていたお城とまったく違っていました。また、日本人たちはとても親切で丁寧な人ばかりだったのも印象に残っています。短い期間でしたが日本について本当にたくさんの方が学べましたし、そこまで言葉が通じない国で、どのように行動すれば良いかを学ぶこともできました。



ザッカリー・トーマス・レンフロ
Zachary Thomas Renfro さん
アーカンソー大学(アメリカ)

日本文化の素晴らしさを実感

日本に関する情報はドイツにも沢山ありますが、100%本当ではありません。実際の日本を自分の目で見ようと思い参加しました。以前から日本の伝統的な文化が好きでしたが、実際に体験して完全に恋に落ちました。特に邦楽部の見学で見た和楽が素晴らしかったです。また、サマースクールで出会った多くの友人のおかげで、社交性の面でも成長できました。日本の文化はよくミステリアスだという説明をされますが、私は日本の文化を経験し、とても美しいと感じました。



リヒャルト・ミカエル・レーナツ
Richard Michael Lenerz さん
トリア大学(ドイツ)



浴衣の着付け後に、塩見縄手を散策。



ウェルカムパーティーの様子。



明々庵での茶道体験の様子。



八雲町にある「安部榮四郎記念館」でおこなった紙漉き体験の様子。

様々な人との 触れあいにより 成長を実感した 研修生たち

7月9日には、研修生と日本人学生の間で“Have Fun with English”と題した学生企画の交流会を開催しました。自己紹介の後、グループに分かれてジェスチャーゲームを行い、メンバーが交代するたびにジェスチャーが変わっていく様子が歓声が上がりました。また、陶器のだるまの色づけ体験もおこない、一緒に作業をしながら学生同士で交流を深めました。短い時間でしたが、皆すっかり打ち解け、友情と交流の輪に包まれていました。

2週間のプログラムを通して、研修生たちは日本や島根の文化について理解を深めるとともに、様々な交流により、日本語のみならず社交性やコミュニケーションの面でも成長を実感したようです。島根大学は、このような活動を通じて、協定校との深い連携の強化を進めていきます。

島大で生涯の友人もできた！

日本は3回目ですが島根県は初めてだったので、松江とその文化についても学びたいと思っていました。文化体験を通じて、日本の価値や思想が、お茶や和菓子などにどのように反映されているのかを知ることができました。サマースクール期間中、島根大学の学生は、私たちのためにパーティーを計画してくれたり、遊びに連れて行ってくれたり、とても親切にしてくれました。サマースクール生と島根大学の学生の間で友情が育まれたことは、最も印象的な出来事だったと思います。



レベッカ・ルイス・ギボンズ
Rebecca Lois Gibbons さん
エクセター大学(イギリス)

自立心がより身についた

日本を実際に見て、文化を経験できる、その両方が叶うプログラムだったので、とても期待していました。松江城ではかつてお城がどのように建造されたのかを見ることができました。また、文化体験のひとつでおこなった紙漉き体験では、日本人は、そこにあるものをどのように活用するかを考え、新しい発明をするのが上手だと感じました。サマースクールを通じて、自分で何とかするという点が成長したと思います。このプログラムのおかげで、より多くのことが経験できました。



ガブリエル・ミシェル・ベネット
Gabrielle Michelle Bennett さん
ケント州立大学(アメリカ)

国境をこえてチャレンジする学生たち 留学生・留学体験紹介

現在島根大学では、世界28か国・地域、89の大学・機関と交流協定を結んでいます。毎年、多くの島大生が海外へ留学し、多くの留学生が海を渡ってやってきます。留学経験のある学生に、留学体験について伺いました。

FROM



出身校

パラナ連邦大学 (ブラジル)

サトウ・マルコス・カズオ

SATO Marcos Kazuoさん

(教育学部 科目等履修生)



自分の日本語に自信が持てた
将来は教育分野での活躍を

ブラジルの大学では日本語と日本文化を専門に学んでいます。日本に留学すれば、もっと深く学ぶことができると考え、文科省の留学プログラムに応募しました。島根では、できるだけ新しいことを経験しようとして、友人や先生に誘われたら積極的に参加しました。中でも印象的だったのは柿狩り体験です。私はブラジルの都市部に住んでいるので、こういった経験はなかなかできません。柿農家の方の話も大変興味深かったです。私は日本語の中でも特に漢字に興味があります。現在は、日本語を勉強している人に向けた漢字学習方法について、どのようにすれば効果的で、どのように改善すれば良いかについて論文を書いています。現在の学びを活かして、将来は日本語の先生など教育分野に進んでいきたいです。



1.



1. 雪を見るのも初めてだったマルコスさん。大学キャンパスで友人と雪だるまを作りました。2. 柿狩り体験の様子。柿の渋抜きや干し柿の作り方などを教えてもらいました。



フロリダ大学 (アメリカ)

留学先



きょうめん はなえ
京面 華菜恵さん
(法文学部 言語文化学科 4年)

アクティブな学びから 自らの自信に繋がる力を

大学2年で参加した短期研修でフロリダ大学を訪れ、授業のアクティブさに驚きました。先生と学生の意見交換が活発で、学んだことをアウトプットする機会が多いと感じました。アメリカでしか学べないことを学べべく、3年の時に再びアメリカへ。留学して間もない頃、たとえ上手く話せなくても伝える努力が大切と気づき、それ以来クラスメイトに積極的に話しかけ、分からなければ聞いて解決することを徹底しました。日本にいたら自分でできることが、アメリカでは必ずしもそうではありませんでした。自分の中の当たり前をなくし、寛容な姿勢を持つこと、そして、分からなければ聞くことが成長に繋がると実感しました。今後も、自分に自信が持てる力を身につけ、もっと自分を高めていきたいです。



1. 毎週末、大学の友人やルームメイトと地域の教会に行き、日曜学校を手伝っていました。
2. 冬休みには、ナイアガラの滝やカナダのモントリオール、ニューヨークを巡る一人旅へ。

FROM



開南大学 (台湾)

出身校



モン・キンエイ
門 欣穎さん
(法文学部 特別聴講学生)

積極的な交流で 多くの友人に恵まれた

中学2年の時にSMAAPの「世界にひとつだけの花」を聴いて感動し、日本語が好きになりました。日本への関心は年々強くなり、日本での生活を体験してみたいと考え、留学を決めました。台湾では実家暮らしだったため、日本での生活が初めての一人暮らしでした。不安だらけでしたが、生活にはすぐに慣れることができました。留学中は、日本人学生と積極的に話すように心がけました。最初は自分の言いたいことを上手く表現できず、もどかしい思いをすることもありましたが、諦めずにコミュニケーションを続けたことで、多くの友人ができました。この貴重な経験を活かして、将来は日本人向けの台湾観光ガイドなど、日本人と交流ができる仕事に就きたいです。台湾と日本の懸け橋になれたらと思っています。



1. 牡丹祭りの時、友達と一緒に由志園に出かけました。
2. 日本の文化体験では、着物の着付けをしてもらいました。着物の綺麗さに感動！

納税者の権利保護と 租税正義の実現により 公正な社会を目指して

租税法の基本原則は
法に基づく公平な課税

租税に関する法律をまとめて租税法と呼び、租税法には「二つの基本原則があります。一つは、国民が公平に税負担する、という「租税公平主義」。もう一つは、国は法律という根拠に基づいて租税を賦課・徴収する、という「租税法律主義」です。谷口准教授がつまびらかに説明してくれました。「『公平な課税』とは、誰もが同じ金額を納めるのではなく、各人の負担能力に応じて課税するということです。一方、税金は国民の財産を反対給付なしに強制的に課されます。権力者が恣意的に国民の財産を搾取することは許されず、国民の代表者からなる議会が定める法

学校教育や社会保障、道路や水道の整備など、人々が豊かに生活できるようさまざまな面で使われている税金。誰もに公平に、法律に基づいてのみ課税されることが憲法で定められています。納税者の権利保護の視点から租税法について研究を重ねているのが法文学部の谷口智紀准教授です。



PROFILE

法文学部 法経学科
谷口 智紀 准教授
たにくち ともり

アメリカ租税法との比較法研究などを続けており、年に複数回はアメリカや東南アジアに出向きます。多国籍企業の本社があるアメリカ・シアトルは、物価や地価の上昇もすさまじく活力を感じます。日本も活力を取り戻し、世界をリードする国として活躍してほしいです。



2

1・3. 東北税理士会平成29年度全国統一研修会の様子。租税正義の実現を担う税理士等に対する研修講義を全国各地で行っている。2. 谷口准教授が指導する財政法ゼミと、広島修道大学、岡山大学のゼミとの3大学合同ゼミの様子。4. 谷口准教授の単著『知的財産権取引と課税問題』。その他は共著。



4



3



1

律に根拠がある場合、つまり国民が同意している場合に限り課税はできるのです」。

谷口准教授は、二つの基本原則をいかに調整するかが重要だと言います。「納税者は税金が少ない方がいいですが、国は政策を実行するためには税収を増やしたい。たとえば相続税では、現金を不動産に変えることで画一的な評価を定める通達の評価による節税効果があります。一方、国は『租税回避』だとして、個々の状況に応じて不動産評価のやり直しを、これもまた通達により行います。国のさじ加減で場当たりに税を徴収するとなれば、国民の財産権は保障されません。諸要件や手続きなどを定めた法律により公平な課税が行われるべきです」。

取引の多様化により 発展を続ける租税制度

知的財産権の取引課税の研究にも力を入れています。「知的財産は時に莫大な富を生み出します。アメリカに本社がある多国籍企業を中心に、生み出した知的財産を低課税国に移し、利益を留保する

ことが現実に行われています。今後各国での税の奪い合いが激化する中で、日本でも同じ問題が起きるかもしれない」と谷口准教授。財産を他国に移すことで企業は減税できますが、本国の税収が減少することは、一般市民がその不足分を補うこととなり、市民の負担増加にもつながります。

国土面積が小さく、主要産業も少ないシンガポールでは、知的財産を国家戦略の一つに掲げ、海外からの知的財産の移転を誘因しています。「日本と比べると、シンガポールは非常に優遇された法人税制度です。国家として生き残るために外資を稼ごうとする戦略は理解できますが、放置できる問題ではありません。国際的に皆が納得できるルールを議論し作っていく必要があります」。

谷口准教授は、「法律に基づく課税とはいえ、その法律に不備があれば変える必要があります。言われるがまま納税するのではなく、適切な課税が行われているか否かを国民自らが当事者意識を持って考えていくこと、これが日本の課題といえるでしょう」と締めくくりました。

わるいタッチの判断

島根大学の
研究・地域貢献
事業紹介

2

医学部



手をつなぐ

幼児・小学校低学年
向け「児童養護施設に
おける性(生)教育プロ
グラム 資料・台本集」



プライベートゾーンをさわる

プライベートゾーン＝ 水着で隠れるところ＋くち

性行動のルール

- ①自分のプライベートゾーンを見せてはいけない
- ②自分のプライベートゾーンを触らせてはいけない
- ③他人のプライベートゾーンを見てはいけない
- ④他人のプライベートゾーンを触れてはいけない

例外：お医者さんに診てもらった時、大人が乳幼児をお世話する時

自分も他者も大切に。
暴力を連鎖させないための
知識と自尊心の醸成を

児童間暴力を予防する 教育プログラムを作成

榊原講師は大学院卒業後、島根県で9年間保健師として勤務。児童相談所に配属された際、児童養護施設に入所している子どもも同士の暴力を予防するプログラム作成の重要性を強く感じたそうです。「児童養護施設に入所している約6割が虐待を受けた子どもです。幼児から高校生までの幅広い年代が集団で生活をするため、ストレスを抱えやすく、子ども同士の暴力が生じやすい環境にあります。暴力とは、殴ったり蹴ったりといった身体的なものだけでなく、心理的、性的なものも含まれます。家庭で虐待を受けた



PROFILE

医学部 看護学科
榊原 文 講師
さかきはら あや

生まれ育った雲南市で今、子育てをしているのですが、見守り隊や地域行事などが盛んで、ソーシャル・キャピタルが非常に豊かだと実感しています。一母親として助けられています。誰もが地域の一員という意識と取り組みが大事。私も子どもと一緒に地域行事に参加していきたいと思ひます。

保護者がいない、または、虐待などにより適切な養育を受けられない子どもを、公的に育てる場所の一つが児童養護施設です。しかし今、入所している子どもも同士の暴力が問題視されています。医学部看護学科の榊原文講師は、子どもたちが被害者・加害者にならないよう、適切な知識と自尊心を持つ大切さを強調します。

いいタッチ・



2

1.榎原講師が作成した台本集は、島根県中央児童相談所HPから閲覧可能。2.平成29年、「地域看護学実習II（産業看護実習）」における教育実践で、島根大学優良教育実践表彰を受賞。3.榎原講師が立ち上げた在宅ボランティアサークル「えすここ」の活動風景。4.平成28年、第75回日本公衆衛生学会総会で「ソーシャル・キャピタルと産後うつ発生率との関連」が、ポスター賞を受賞。



4



3

いいタッチ



ありがとうと言う



おんぶ

わるいタッチ



ものをなげる



パンチ・キック

イラスト：Yuka

1

子どもが、入所後に再び暴力被害に遭うことは是が非でも予防しなければならぬと思いましたが」と榎原講師。「特に性暴力は心理的ダメージが大きく、自尊心を著しく低下させてしまっています。そこで、自分も他者も大切にできる性（生）教育プログラムを作成しました。これは、長期的な視点でみれば、子どもが将来親になつた時の虐待予防につながると考えています」。

まず、施設職員にインタビューを行つて、性問題行動の実態を把握。実態を踏まえたプログラムの検討し、性行動のルールや感情の理解、いいタッチ・わるいタッチの判断、嫌な気持ちになつた時の対処方法、体を清潔にする方法、自尊感情を高める内容で構成しました。内容ごとにプライベートゾーン等のキーワードを設定し、子どもと施設職員の共通言語とすることで、職員が指導しやすいようにしました。「自尊感情の低かつた子ども達が少しずつ自信を持てるようになり、落ち着きが出てきました。施設職員さんも指導がしやすくなつ

たようです」。

性被害を受けた子どもへの性教育プログラムや施設職員が子どもへの性行動の理解を深める研修プログラムも開発。これらのプログラムは県内外から注目を集めており、研修依頼もあるそうです。

地域の絆が 育児負担の軽減に

榎原講師がもう一つ強調するのが、ソーシャル・キャピタル（地域の絆）の重要性です。「現代社会、親も様々な要因で育児の負担を感じています。行政も子育て支援や虐待予防に取り組んでいます。地域の絆や信頼関係があれば、育児に悩む親たちの支えになるはずで

す」。研究の結果、ソーシャル・キャピタルが豊かな地域では、産後うつ病の発症割合が少なく、育児負担を感じている人の割合も少ないことが明らかになりました。

今後は親のインターネット依存が子どもにもたらす影響や、里親の子育て支援の研究も深めていく考えです。

植物遺伝子の機能解明や 形質転換技術に注力 植物研究分野の発展へ

植物の発達を制御する 遺伝子を研究

中川教授が植物遺伝子に興味を持ったのは、約30年前。動物や微生物の遺伝子研究が活発化する一方、外部からDNAを導入する際に細胞壁が障害となり、長らく技術的に困難だった植物分野の研究が進み始めた頃でした。「植物は根を出した場所で生きていかねばならないため、環境に適応してかなり自由に形を変えていく柔軟性に富んだ生物です。これらの動きを支配する遺伝子に強く惹かれました。植物は食べ物のもともでもあります。将来的に重要なテーマになるという思いもありました」と中川教授。



PROFILE

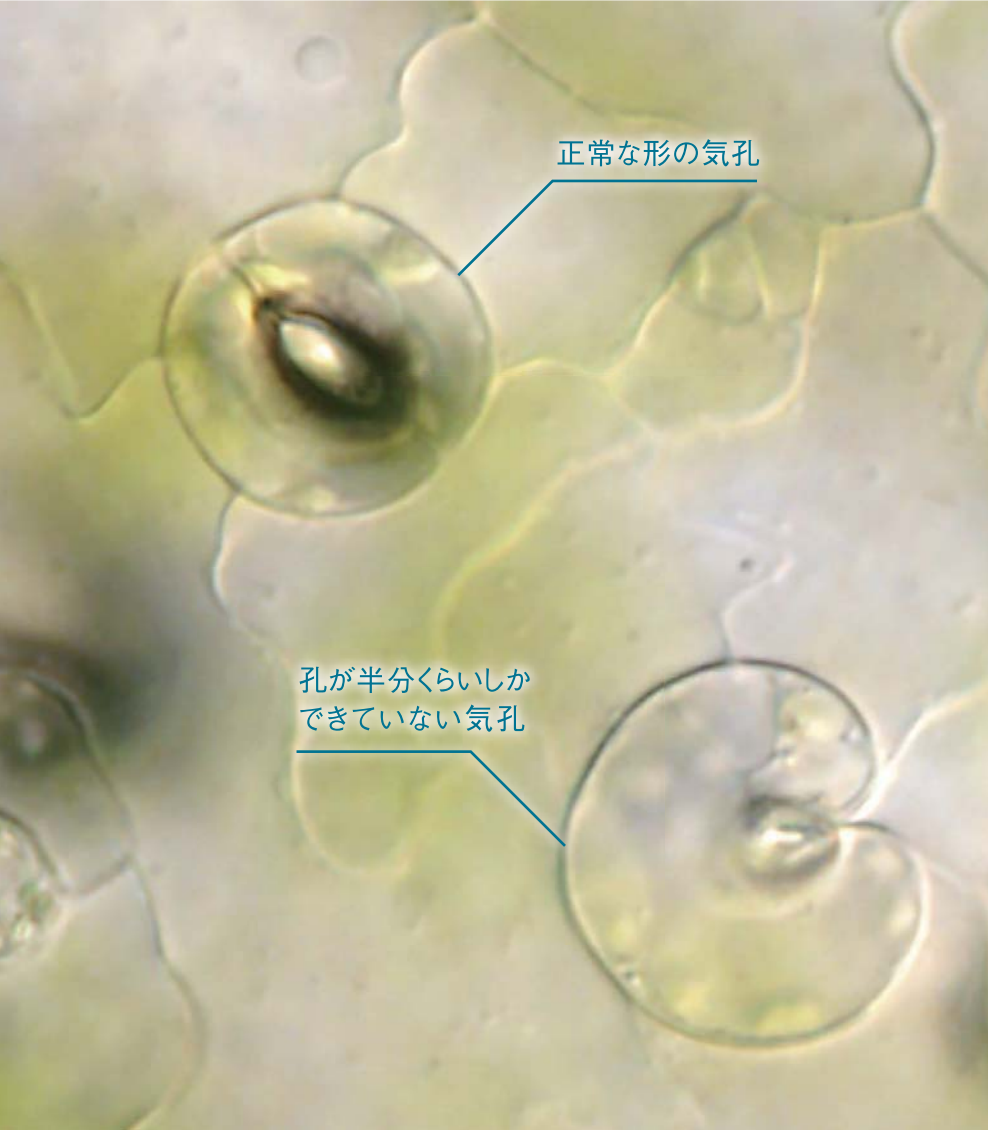
総合科学研究支援センター 遺伝子機能解析部門

中川 強 教授

なかがわ つよし

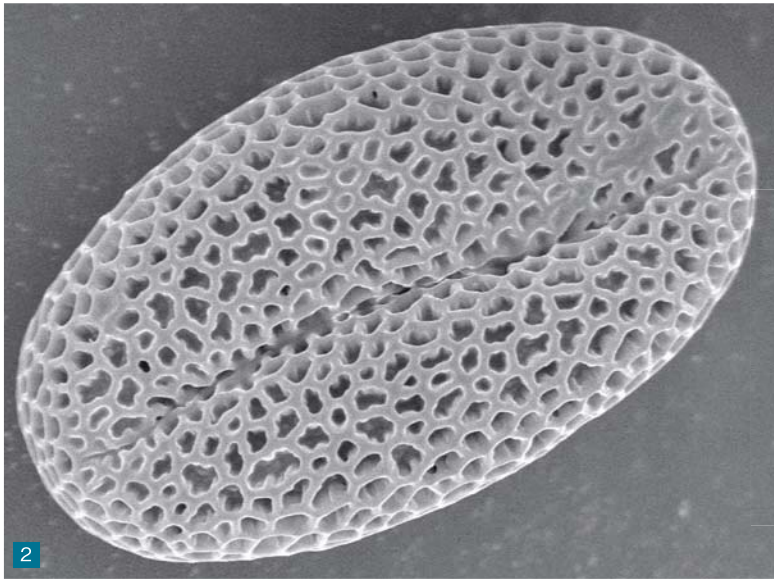
子どもの頃から、いろいろなものの仕組みを知ることが楽しくてたまりませんでした。理科が好きで昆虫採集にも夢中になりましたが、機械や電子部品にも興味があり、おもちゃはほとんど分解していましたね(笑)。今でも簡単なおもちゃなら直せますよ。

すべての生物は、細胞がタンパク質を作る時の設計図となる「遺伝子」を持っていきます。植物が芽や葉を出し、花を咲かせるのも遺伝子が作用しているからです。総合科学研究支援センターの中川強教授は、植物の発達を制御する遺伝子の研究や、植物の性質を遺伝的に変える技術開発に力を注いでいます。



正常な形の気孔

孔が半分くらいしか
できていない気孔



孔ができていない気孔

1. シロイヌナズナ気孔突然変異体bage1の葉の顕微鏡写真。下2つの気孔は、細胞分裂を行うための遺伝子に変異している。変異した遺伝子を見つけることで、植物の細胞分裂の新しい仕組みが分かる。 2.シロイヌナズナ花粉の電子顕微鏡写真。表面に網目状のパターンが形成される。 3.バイオリソースセンターに送る前のベクター。試験管一つひとつ、すべて種類が異なる。 4.小学5・6年生を対象に実施した「ひらめき☆とぎめきサイエンス」の様子。

突然変異などによって遺伝子がうまく働かなくなると、正しい植物の形が作られなくなることがあります。中川教授はまず植物の葉の表皮に存在し、光合成や呼吸、蒸散などを行う「気孔」に着目。数万ものシロイヌナズナを顕微鏡で覗き、異常な形の気孔を持つ突然変異体を探していききました。

続いて、異常な株の染色体と正常な株の染色体の塩基配列を比較し、変異に関係する遺伝子を見つけていきました。このような遺伝子を調べることで、気孔や細胞を発達させてゆく仕組みが分かるそうです。「植物によっては遺伝子を使って細胞を変化させることで機能を上げられる場合もあります。地球の気候環境が厳しくなる中、今後、厳しい気候条件にも耐えられる植物が求められるかもしれません。植物細胞の形をコントロールすることも目指しています」。

遺伝子のベクター開発 世界各国から高い評価

ある遺伝子を、植物に組み込んで遺伝的形質を変えさせるためには、「ベクター」と呼ばれるDNAが必要です。遺伝子の運び屋とも言われ、挿入する遺伝子の大きさや実験目的によって、違うベクターが求められます。中川教授は当初既存のベクターで研究を進めていたものの、大きすぎるため実験効率が悪いなどの難点があったため、自ら開発を始め、従来より良質なベクター開発に成功しました。

その後、国内外の研究者から分与を希望する声が高まったため、多くの人が利用すると予想される新しい種類のベクターも次々と開発。既に500種類に上り、フランス国立農学研究所（INRA）やアメリカ・ノースカロライナ大学など、世界各国の研究者に活用され評価を得ています。

特に良く使われる抗生物質の耐性遺伝子を乗せたベクターなど138種は分与希望が多く、理化学研究所のバイオリソースセンターなどに寄託しているそうです。「多くの研究者の力になれることは光栄です」と笑顔を見せてくれました。

社会で 活躍する 卒業生

A graduate of
Shimane University

No. 02

中学校教諭

Profile

濱岡 睦月 さん

江津市立江津中学校 教諭

江津市出身。島根大学在学中に県柔道大会で9連覇を果たすなど柔道で活躍。2007年3月教育学部生涯学習課程スポーツ科学(現:教員養成課程健康・スポーツ教育専攻)を卒業し、1年間の講師を経て教員採用試験に合格。松江市、浜田市の中学校で教鞭をとり、現在江津市立江津中学校に勤務。国際柔道連盟コンチネンタル審判員資格を保持。

卒業後も様々な分野で活躍する島大OB・OG。その中から、山陰をフィールドに活躍する注目の人を紹介するシリーズ企画です。今回は、自身の母校でもある江津中学校で教鞭をとる濱岡さんに、現在の仕事やそこに至るまでの道のり等をうかがいました。

母校での2年目 保健体育を通じて 子どもたちの成長を見守る

江津中学校の道場から活気ある声。柔道部の顧問として、生徒を熱心に指導するのが島根大学教育学部の卒業生・濱岡さんです。江津中へ赴任して2年目、教科は保健体育で、現在は2年生の担任をしています。「限られた時間でいかに生徒とコミュニケーションをとるかを常に考えています。担当クラスの生徒は、保健体育がない日は朝礼後からずっと顔を合わせないことも多いです。少しでも生徒の状況や考えを把握できるように、全員にライフノートを渡し、交換日記形式でやりとりし



生徒には、時には厳しく、時には友達のように、オン・オフを切り替えて接します。

はつらつとした学生さんを見ると、
楽しいです。

(鳥根県出雲市・60代男性)

認知症検査のアプリが
出来るとのこと、自分の親にも
試してみたいです。

(鳥根県松江市・50代男性)

COCコース卒業生が社会に出た1年後くらいの
活躍をとりあげた記事がみたいです。

(鳥根県松江市・60代男性)



夏休みの部活動の様子。江津市内の他の中学校からも生徒が訪れ、合同で練習をしています。

ています」と濱岡さん。教師という仕事について、「生徒たちの成長を間近で見られること、体育でできなかつたことができるようになった時は、教師をやっている良かった！と心から思います」と、やりがいを語ってくれました。

県女子柔道大会で 9連覇を達成 柔道一色の大学生活

大学時代は柔道漬けの日々を送っていた濱岡さん。授業終了後、毎日柔道場へ足を運び、土日は他大学へ練習試合に行くこともあり、当時の柔道部は強かったですよ。柔道の推薦で入ってくる学生が毎年何人かいたので、層も厚かつたと思います。濱岡さん自身も、県女子柔道選手権で9連覇を果たすなど、大いに活躍。当時は、柔道で上を目指すことが一番の目標だったそうです。「柔道を仕事にしたいと考えていました。私の両親が教員だったこともあって、選択肢のひとつに教員があつたんですね」と振り返ります。

就職に就いてすぐの頃は、一つずつ学習指導案を作っていたそうですが、指導案の作成には大学時代に学んだ経験が役立つといいいます。「困ったことがあつた時、大学の先生や教職に就いた同級生に連絡をとって相談したりもしました。大学で出来た繋がりは何かと手助けになりましたよ。」



全国学生選抜に選出され、ニュージーランドで実施された大会に出場した際のひとコマ。

全柔連の推薦で 国際審判員資格に挑戦 さらなる高みを目指す

出産・育休を経て現場に復帰、濱岡さんの新たな挑戦が始まります。29歳の時に全日本柔道連盟のAライセンス審判員を取得。国体をはじめ全国の大会で定期的に審判経験を重ねていきました。国際審判の資格を取ってみたいかと声がかかったのは昨年の夏頃のことです。「誰でも受験できるものではないので、せっかくの機会だから

と思い、挑戦を決めました。」

全柔連の推薦で濱岡さんが挑んだのは「国際柔道連盟コンチネンタル審判員資格」。これはアジアで開催される国際大会を裁くことができる資格です。試験は、実技と英会話の試験、審判スキル審査の三つ。

「正直英語はまったくでした。受験申込も英語だったので、同僚の英語教員にはかなり助けてもらいましたよ」と濱岡さんは笑います。2017年12月に韓国で実施されたコンチネンタル審判員試験に、一度目の挑戦で見事に合格。この資格取得者は島根県では初、国内では32番目です。まだ国際大会で裁いた経験はないですが、今冬の国際大会での審判員の話も来ているのだとか。

柔道とともに歩んできた濱岡さん。「大学から教職に就いた現在まで、柔道という一本はずらさずにやってきました。今の学生さんにも、何かひとつをやりとげてほしいですね。それが、勉強であっても部活であっても、遊びであってもいいと思うんです。自信が持てるものを持って、それを継続して行ってほしいです」と締めくくりました。

読者の声 Voice

広報しまだい
vol.37に
寄せられた声
をお届けします。

島大OGですが、自分の在籍中にも
COCコースがあつたらなんと、
うらやましく思いました。

(島根県松江市・40代女性)

卒業生全体に対する
情報発信をより積極的に
行ってほしいです。

(愛知県岡崎市・40代男性)

しまだいい便り

大学の
旬な情報をお届け

島根大学が学内外問わず行っている多彩な活動の中から大学の今がわかる選りすぐりの情報をお伝えします。

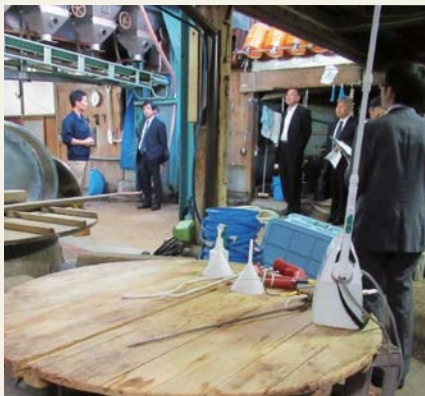
TOPICS

1

服部学長を囲んで和やかに交流 第2回「島大会員の集い」を開催

5月11日(金)に「島大会員のつどい」を開催しました。この「島大会員のつどい」は、島根大学支援基金を通じて本学を応援してくださる島大会員の皆様に感謝の気持ちを示すとともに、本学と会員との交流を図ることを目的に開催しているものです。

第2回となる今回は、松江の銘酒「豊の秋」醸造元である米田酒造株式会社との協力を得て、酒蔵見学と試飲会を行い、約30名の島大会員に参加いただきました。酒蔵見学では米田則雄代表取締役社長から、酒造りに関する丁寧な説明があった後、期間限定のしぼりたて新酒等を試飲しました。閉会に際し、服部学長より謝辞が述べられ、参加者の方からは「貴重な体験ができた」「また参加したい」などの声が寄せられました。



TOPICS

2

世界の強豪チームと生理学の知識を競う 医学生生理学クイズ世界大会に出場

本年5月に開催された医学生生理学クイズ大会で初出場3位の快挙を遂げた「島大チーム」が、8月15日(水)、16日(木)にマレーシアでの世界大会に出場し、24か国124チームと生理学の知識を競いました。惜しくも本選進出は逃しましたが、この経験は大変有意義なものとなりました。大会に出場した医学科3年の阿部さんは「ここで得た基礎医学の知識は今後学ぶ臨床医学でも生かされると思う」と語っていました。



TOPICS

3

山陰の女性研究者が集まり意見をかわす 女性研究者ご縁イブニングミーティングを開催

7月27日(金)、「第24回SANIN女性研究者ご縁ネットイブニングミーティング」が開催されました。松江工業高等専門学校校長の平山けい校長に「生まれてから死ぬまで一生使い続ける細胞Neuronを愛しましょう」というタイトルで話題を提供いただきました。参加者である研究者から神経科学の今後の動向に関する私見や自身の研究分野からの疑問など、質問が次々に出され、共同研究の芽吹きが感じられました。



海外の大学や研究所との交流や、国際学会で活躍されている先生方も取り上げてほしいです。

(島根県松江市・70代男性)

留学生を積極的に受け入れているのはとても良いことだと思います。

(長野県松本市・60代男性)

島大が社会に広く開かれている様子が伝わりました。今後もそうあってほしいです。

(鳥取県西伯郡・70代男性)



TOPICS

4

男女ともに働きやすい職場へ 学童保育施設「キッズクラブ太陽」が完成

7月23日(月)、医学部構内に学童保育施設「キッズクラブ太陽」が設置され、開所式を行いました。医学部・附属病院では研究・医療に携わる職員が多く、勤務時間が変動的であるため、子育て中の職員からは「公営の学童保育施設は終了時間に迎えが間に合わない」、「お盆の期間の勤務日に預かってもらえない」など、悲痛な声が寄せられていました。このことを受け、今後のニーズも見据えて学童保育施設の設置に着手しました。

開所式で、服部泰直学長は「近年、社会構造の変化により、職場のダイバーシティ(多様性)が求められています。男女とも働きやすい職場になるように願っています」と挨拶しました。続いて、井川幹夫病院院長は「太陽のように明るく、活動的な施設にしたい。やさしいスタッフの適切な運営を期待します。子どもたちの成長のため、協力をお願いしたい」と述べました。業務委託先の株式会社さんびるの田中正彦社長は「宿題のサポートのほか、希望があれば習字、英会話の塾なども実施します」と運営について説明しました。



TOPICS

6

中国、インドネシア、ブラジル、ポーランドからの6名が修了 日研生[※]の修了証書授与式を挙

8月21日(火)、日本語・日本文化研修留学生(日研生)プログラムの修了証書授与式が行われ、6名が修了しました。日研生たちは約1年間のプログラムを通して、島根に根づく多彩な文化と日本語を学んできました。服部学長から、島根大学や島根での豊かな見聞を母国の後輩たちにも伝えて欲しいという希望とともに、日本語力を活かし、今後の活躍を祈念するという温かい励ましが送られました。

※日研生・・・日本国政府(文部科学省)の奨学金を得て、日本の大学で日本語能力および日本事情、日本文化の理解向上のための教育を受ける留学生



TOPICS

5

月9ドラマの主題歌を担当した音楽バンドも登場！ 島根大学プロモーションビデオ視聴のご案内

島根大学では、本学の魅力を発信する公式YouTubeを公開しています。映像内では、4月期月9『コンフィデンスマンJP』(フジテレビ系列)の主題歌を担当し、メンバー3名が島根大学出身の「Official髭男dism(オフィシャルヒゲダンディズム)」に出演いただき、学部・サークルなどを楽しく紹介しています。県内の皆様、これから受験を控えている学生の皆様、ぜひご視聴ください！

「Official髭男dism」の詳細についてはこちら(<https://higedan.com/>)をご確認下さい。PVの映像はQRコードからご覧いただけます。



読者の声
Voice

広報しまだい
vol.37に
寄せられた声
をお届けします。

地方大学として地域に
貢献する人材育成を
これからも続けていってほしいです。

(岐阜県美濃市・20代男性)

法文学部同窓会で尽力いただいている
糸原るいさんの積極的な生き方、
社会貢献への意志、素晴らしいと思いました。

(兵庫県神戸市・60代女性)

健康寿命を延ばす知見の創出と地域の課題解決に応える

山陰の健康科学・スポーツ科学の研究拠点へ

人間科学部身体活動・健康科学コースでは、研究実験施設としてバイオメカニクス実験室、ヘルスサイエンス実験室、運動生理学実験室、健康運動演習室の4室を整備しました。

今回は、ヘルスサイエンス実験室に整備した「低酸素室・高酸素室」について、その概要と役割について紹介します。

低酸素室・高酸素室の機能を有する「ヘルスサイエンス実験室」

は、人間科学部のシンボルの施設として整備されました。教育・研究が主な使用用途ですが、将来的には一般利用も検討されています。また、人間の健康に関する様々な実験を行うことができ、山陰地方における健康科学・スポーツ

ツ科学の研究拠点となることも想定しています。

低酸素室は室内の酸素濃度を任意で変更することができます。部屋の容積が大きく、トレーニングや運動などを伴う実験を行うことも、設定した酸素濃度が変化しにくいという特徴があります。低酸素環境は人間の呼吸・循環器系や

代謝系、認知機能へ影響をもたらします。この施設内での身体活動・運動は、ランニングマシンの速度等の物理的な負荷を抑えたまま、生

体への適切な刺激を与えることができ、健全な人や生活習慣病の疑いのある人への新たな運動処方へつながっていきます。

人間科学部は、健康寿命の延伸

に資する知見の創出を目的の一つとして掲げています。このような設

備は、民間の施設や研究機関を含めて多くが都市部に存在していません。地方都市に完成したのは珍しく、高齢化先進県である島根県の諸課題に対しても応える可能性を秘めており、この施設に対する期待も高まっています。



低酸素室は、室内の酸素濃度を20.9%（海拔0m）～13.5%（海拔3600m相当）まで任意で変更可能。部屋の容積が約40m³と大きく、一度に複数人での使用も可能となっています。

荒れた森林を元気にしよう!
私たちは森林保全の輪を広げる活動を展開しています。

山陰合同銀行

島根大学オリジナル芋焼酎
神在の里 好評発売中

生物資源科学部神西砂丘農場で生産されたサツマイモ「ベニアズマ」を原材料とした「芋焼酎」

●神在（かみあり）の里（720ml）2本入りセット…3,200円（税込）

島根大学生協同組合
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 Tel.0852-32-6240
<https://www.shimadai.coop/>

求人情報 **メリット**

WEBサイトでもフリーペーパーでもお申し込み可能

お仕事見つかる **メリット**

鳥取・島根のおしごと探し **メリット**

鳥取・島根のおしごとサーバー **Webメリット**

株式会社メリット
松江市古志原5-2-43
TEL.0852-23-1749

しまだい's サークル

Shimadai's Circle

各キャンパスでそれぞれの特色を生かして活動する島大生。運動系や文化系はもちろん、大学を飛び出して活動する団体もあり、活躍の幅は様々です。そんな各団体について、実際の活動内容を交えて紹介します。

松江キャンパス

演劇部

シアターちょこざい

皆で作上げた世界観で見ると人を喜ばせたい

演劇が好きで、人を喜ばせたいという精神が強いメンバーが集まる演劇部。年3回の公演に加えて、市内の公民館での催しに出演するなど、精力的に活動しています。公演ごとに演出家や舞台監督、役者、大道具、衣装、美術など、細かい役割を決定し、本番に向けて練習に励んでいます。演劇の醍醐味は「人と何かを作り上げる楽しさ、そして作ったものを人に認めてもらえる、評価してもらえること」と、部長の山崎さんは言います。違う考えや価値観を持つ人が集まって、意見を出し合いながら一つのものを作り上げていく…。様々な場面で必要な力が、部活動の中で自然と身につけているようです。



2. 現在の部員は31名で、院生や留学生も在籍。和気藪々とした雰囲気から、部員同士の仲の良さがうかがえます。2. 7月に開催した夏公演のひとつ。夏公演では1年生が主体となって、コメディ2本とシリアス1本の計3本を公演しました。



1.

黒帯を目指してハードな練習をこなす

護身術として女性からも人気のある合気道。部員のほとんどが大学から始め、黒帯を目指して週2回の稽古に励んでいます。合気道には勝敗がなく、相手の力を利用するという点で、他の武道とは少し趣が異なります。流派は、構えが特徴の養神館合気道。警察官等の科目にも採用されるなど、実践性の高い流派です。型稽古を中心に、基本姿勢・基本動作・基本技等をおこないます。合気道部の持ち味は、アットホームな雰囲気。「練習はハードですが、仲間と一緒に楽しもうと思える環境だからこそ頑張れます」と藤田主将は言います。3ヶ月に1度の昇級試験と、8月の県大会、西医体に向けて精力的な練習が続きます。

出雲キャンパス

合気道部



1.



2.

1. 現在の部員は女性7名、男性1名の計8名。学外の先生に、練習メニューの作成から指導までをしてもらっています。2. 合気道は力の流れを重視しているので、姿勢が重要なのだとか。正しい姿勢で基本動作を行うという、基礎を大切に練習します。

島根大学支援基金より

島根大学支援基金では、皆さまからいただいたご寄附を地域や世界で活躍する人材育成のために活用させていただいております。同基金について多くの皆さまに知っていただくため、今後この「広報しまだい」で、様々な情報をお伝えしていくこととしました。

平成30年度における支援基金の主な事業・目的

島根大学夢チャレンジ奨学金

経済的理由により困窮している学生へ奨学金を支給し、充実したキャンパスライフや将来の夢に向けたチャレンジを応援します。

島根大学グローバルチャレンジ奨学金

交換留学や海外研修等にチャレンジする学生に奨学金を支給し、本学のグローバル化の推進やグローバルな視野を持った人材を養成します。

島根大学長期インターンシップ支援金

長期インターンシップを活用して実務的なスキルや経験を積もうとする学生や、地域課題解決型教育(PBL)を通じて地域の課題解決に貢献しようとする学生に支援金を支給し応援します。

島根大学発学生ベンチャー支援奨励金

ベンチャービジネスの起業活動をおこなう学生に奨励金を支給し、島根大学発学生ベンチャーを推進します。

支援学生からの感謝の声

法文学部 4年 山尾 紗矢さん
(平成29年度 海外派遣学生支援制度奨学金 受給者)

イギリスのエクセター大学への一年間の交換留学にあたって、島根大学支援基金からの奨学金を頂き、とても感謝しています。ご支援のおかげでとても充実した時間を過ごさせていただいています。イギリスは物価や家賃、生活費などが日本に比べて高く、経済的にかなり厳しいですが、この奨学金が大きな助けとなりました。イギリスでは日々の生活の中で英語を学ぶことに加え、学部の授業では文学や異文化交流の授業を取り、とても貴重な経験をさせていただいています。残りの留学生活も悔いの残らないように勉強を続けて、学んだことを島根大学に持ち帰れるようにしたいです。



島根大学支援基金 寄附者一覧

島根大学支援基金は、皆さまからのご寄附を学生支援等に活用させていただき仕組みです。パンフレットは下記ホームページにも掲載しておりますが、郵送いたしますので、お問い合わせください。

ご協力ありがとうございました。※平成30年5月16日～8月15日までに年度内寄附累計額5千円以上のご寄附をいただいた皆さま(五十音順・敬称略)

法人等からのご寄附 小栄設備株式会社 有限会社ハウスマインテナンス ツチヤ

個人からのご寄附

秋重幸邦	浅田健太郎	足立文彦	荒瀬 榮	井川幹夫	伊藤嘉彦	岩堀和夫	内尾祐司	大谷 浩	加治佐幸夫
勝部毅弘	加藤定信	金山富美	川路澄人	木原淳一	熊澤 修	小林祥泰	椎名浩昭	須山弘一	瀬山大二郎
高須 晃	武田育郎	竹谷 健	田中英津子	田辺義博	谷戸正樹	徳田浩一	永田まち子	中谷俊彦	名取瑞樹
西田典数	萩嶺浄信	服部泰直	羽地信子	浜田 太	廣瀬昌博	深谷清浩	藤井浩基	藤田達朗	細木弘道
増永二之	水野 薫	宮永龍一	棟石 均	森田栄伸	杜山総一郎	山内美香	山崎征爾	吉木 茂	吉田 靖
吉見 顕	吉山 治								

お問い合わせ/ TEL 0852-32-6015(総務課 支援基金担当) <https://www.fund.shimane-u.ac.jp/>

※ご寄附をいただいた皆さまの中で、「HP等への掲載を希望しない」とされた方は、掲載しておりません。

島根大学はスサノオマジックを応援しています!



B1 最短復帰を目指す スサノオ战士们にエールを!!

B2降格が決まった屈辱のシーズンから、昇格を目指す新たなシーズンへ。いよいよ9月末からB.LEAGUE 2018-2019シーズンが開幕。最短でのB1復帰を目指して、新戦力を加えたスサノオ战士们の戦いが始まります。ぜひ会場で、彼らの後押しをする熱い声援をよろしく願います!

島根スサノオマジック公式HP
http://www.susanoo-m.com/

島根スサノオマジック 検索

最新情報は
こちらをCHECK!

お問い合わせ先

島根スサノオマジック事務局
0852-60-1866 (平日10時~18時)

HC

鈴木 裕紀



生年月日: 1977/5/27
出身地: 神奈川県

#0

佐藤 公威 (SG)



生年月日: 1984/4/23
出身地: 新潟県
身長・体重: 186cm/84kg

#1

和田 保彦 (PG/SG)



生年月日: 1990/7/23
出身地: 千葉県
身長・体重: 182cm/85kg

#6

北川 弘 (PG)



生年月日: 1991/10/16
出身地: 滋賀県
身長・体重: 183cm/73kg

#7

坂田 央 (SF)



生年月日: 1991/9/18
出身地: 東京都
身長・体重: 193cm/90kg

#8

グレゴリー・エチエニケ (PF)



生年月日: 1990/11/23
出身地: ベネズエラ
身長・体重: 206cm/120kg

#11

後藤 翔平 (PG)



生年月日: 1992/8/5
出身地: 北海道
身長・体重: 180cm/80kg

#13

阿部 諒 (SG)



生年月日: 1994/5/4
出身地: 千葉県
身長・体重: 183cm/77kg

#18

相馬 卓弥 (SG)



生年月日: 1991/7/5
出身地: 宮崎県
身長・体重: 182cm/78kg

#22

小阪 彰久 (PF)



生年月日: 1992/2/22
出身地: 大阪府
身長・体重: 197cm/97kg

#24

伊集 貴也 (PG)



生年月日: 1993/2/22
出身地: 沖縄県
身長・体重: 179cm/76kg

#25

ロスコ・アレン (F)



生年月日: 1993/5/5
出身地: ハンガリー
身長・体重: 208cm/100kg

#42

コナー・クリフォード (C)



生年月日: 1993/12/7
出身地: アメリカ
身長・体重: 213cm/120kg

#50

梅津 大介 (SF)



生年月日: 1990/7/26
出身地: 青森県
身長・体重: 195cm/93kg

編集後記

今年の夏は毎日暑い日が続きましたが、みなさま、お変わりありませんでしょうか。今回の広報しまだいは、総合博物館の紹介や大学発ベンチャーなど、様々な分野で日々大学が新しいことに取り組んでいる様子をお届けしました。「大学」の見えにくい部分、入りづらいイメージを払拭し、より身近な存在に感じていただければ幸いです。

また8月は医学部の学生が生理学クイズの世界大会に出場したり、松江キャンパスの学生がサマースクールのイベントを企画し留学生と交流を深めていたりなど、学生たち自ら中心となって考え、何かに挑戦している姿を見ることができ、我々編集スタッフにも良い刺激となりました。これからも大学が日々進化している様子や、その中で学生の成長や活躍など、広報しまだいを通してみなさまに紹介していきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。



サマースクール撮影の様子

投稿のお願い

「広報しまだい」は、島根大学と地域の方々との相互理解を大きな目的としています。島根大学から地域に情報を発信してほしいこと、地域の方々からの島根大学に関する話題、島根大学に対する要望、その他ご意見、ご質問などをお気軽にお寄せください。ご投稿お待ちしております。

投稿先

〒690-8504
松江市西川津町1060
島根大学 広報室
TEL.0852-32-6603
FAX.0852-32-6630

こちらからもアクセスできます



E-mail
gad-koho@office.shimane-u.ac.jp

HP
https://www.shimane-u.ac.jp

PRESENT

ご意見をいただいた皆さまの中から抽選で10名様に、島大農場で収穫・加工された「リンゴジャム(1瓶)」をプレゼントします。

※当選者のお知らせは発送をもって代えさせていただきます。

※応募締切/平成30年12月7日(金)必着



ミカタをカエル
と
ミライがカワル

しまね 大交流会 2018

12.15 SAT
11:00 — 16:30

くにびきメッセ 大展示場

同日小ホールで、
「高校生・大人向けセミナー」を同時開催!

冬眠している場合じゃない!

しまね大交流会とは

山陰・島根で活躍する企業・自治体・高等教育機関等がブース出展し、参加者と交流する「ツカモノのための県内最大級イベント」です。

働く現場・
業界研究!

大学・高専
研究室
多数出展!

インターン
シップ研究!

200ブース 2200人超が大集結!

- 主催:しまね大交流会実行委員会・島根大学
- 共催:島根県立大学・島根県立大学短期大学部・松江工業高等専門学校・島根県・島根県教育委員会
- 協賛:中海圏域就業支援連絡事業推進協議会(松江市・米子市・安来市・境港市)

お申し込み方法

下記のサイトか、QRコードから事前にお申込みください

https://www.allshimane.shimane-u.ac.jp/project02/2018se_entry/

■島大・県大・県短・松江高専・ポリテクカレッジ島根から会場までの連絡バスを運行します。■高校等で、学校単位で参加される場合は一括申込を承ります。問合せ先までご連絡ください。■障がい等により配慮の必要な方は、問合せ先までご相談ください。



問い合わせ先

しまね大交流会実行委員会事務局
(島根大学地域未来協創本部)

TEL 0852-32-9814

エル・エス・シー・オール・シー
✉ lscrc@riko.shimane-u.ac.jp

文部科学省 地(知)の拠点+ しまねCOC+